

平成 29 年度 第 1 回三郷市地域福祉計画推進懇話会 会議録

会議名	第 1 回三郷市地域福祉計画推進懇話会		
開催日時	平成 29 年 7 月 19 日（水） 午前 10 時 00 分～		
開催場所	本庁舎 6 階全員協議会室		
議長	菊地会長	記録者	黒坂
出席者氏名 懇話会委員	（敬称略） 菊地 靖孝、大崎 ひろ子、小橋 恒夫、浅賀 道夫、岡田 敏和、茂木 聡美、 高山 和夫、高山 美年子、石渡 弘子、山田 智恵子、寺山 友也、防越 紀子		
事務局	増田福祉部長、森福祉部副部長 ふくし総合支援課：篠田課長補佐、黒坂主事		
会議内容	【 1. 開会】 ・ 第 1 回三郷市地域福祉計画推進懇話会開会 【 2. あいさつ】 ・ 増田福祉部長よりあいさつ ・ 菊地会長よりあいさつ 【 3. 事項】 （1）平成 29 年度三郷市地域福祉計画推進事業スケジュールについて ・ 別紙「第 3 次三郷市地域福祉計画作成スケジュール」に基づき事務局より説明 （2）第 3 次三郷市地域福祉計画骨子案について ・ 別紙「第 3 次三郷市地域福祉計画：施策の体系」に基づき事務局より説明 【事務局：第 2 次計画について】第 2 次計画書 P30、31 参照 ・ 平成 18・19 年の 2 か年かけて策定した第 1 次計画の基本理念・基本方針の流れを平成 25 年度からの第 2 次計画へ踏襲する形をとった。 P31 の施策の方向性について、第 1 次計画では、「施策の方向性」が 3 本だてであったが、第 2 次計画では 2 本に絞り、社会情勢や地域社会の変化にともなって「重点施策」を変更した。 【事務局：第 3 次計画(案)について】 ・ 第 3 次計画について、柱となる基本理念・基本方針・施策の方向性はどの方針についても今後の重要な福祉課題と考え、第 2 次計画の流れを踏襲しようと考えている。 重点施策については来年度からの 5 か年計画で重点的な取り組みを反映する予定であることを説明		

※前日開催された関係行政協議会での意見を推進懇話会にてご報告

※基本理念・基本方針・施策の方向性について、追加修正等のご意見があれば伺う。また、各団体での活動で、地域福祉計画に取り入れたい事業等があれば発言していただく。

【委員より質疑・ご意見等】

・小橋委員：

第2次計画書の重点施策にあった「地域の交流拠点の整備」について今後ももっとサロンいきいきのような地域の拠点が増えるといいと思う。地域の空店舗を再利用して行政も介入すればより速く実現できるのではないか。目標のみではなく、具体的で実現可能な事業を進めてほしい。

・防越委員：

交流拠点として、NPO法人 四丁目のクローバーを運営している。高齢者以外でも、子ども達が遊びにきていた。今後総合事業になるに伴って、各団体の運営がどの程度変わっていくのか知りたい。

・岡田委員：

町会ではカラオケ会等の交流を行っている。
今後サロン化を検討している。

→【事務局】

今後の地区サロンについて

市内地区サロンは20か所を超えており、今度も増やしていく方向ではある。地域の偏りも見られることから、地域の特性を見ながら今後検討していく。

・高山委員：

三郷ケアセンターでもサロン活動の一環として認知症カフェを実施している。PR不足により活動実績があまりないのが現状である。今後、認知症カフェを実施している部屋について、土日を中心に町会等地域の団体への貸出を行うことを検討している。

・浅賀委員：

地域内での具体的な地区サロン等が行われているのかを知らない。一般の市民のかたにも、地区サロン等の情報がいきわたっていないのではないか。
市の事業等の情報発信について、なにかいい方法はないのか。
広報誌等でお知らせしても、市民の目に入りにくい。

・小橋委員：

地域ごとに抱えている課題が異なるため、地域に合った情報伝達を行ってほしい。

情報伝達だけではなく、具体的な各地域に則した施策を提示してはどうか。

・菊地会長：

情報源の1つとして、情報発信用に市の掲示版を増やすことを第3次計画に取り入れてはどうか。

(3) 第3次三郷市地域福祉計画市民アンケートについて

・別紙アンケート用紙に基づき事務局より説明

【事務局説明】

・より幅広い市民の意見を計画に反映させるため、今年度から市民アンケートの実施を予定している。

・アンケート実施対象者：①ふくし総合支援課が事務局となっている福祉団体(対象者：約400人)

・民生委員・児童委員協議会

・更生保護女性会

・保護司会

・赤十字奉仕団

②推進懇話会委員が所属している団体へアンケート配布依頼(任意)

※前日開催された関係行政協議会での意見を推進懇話会にてご報告

【事務局案】アンケート対象団体の属性に偏りがあることから、市内図書館や児童センター等の公共施設にアンケートを設置してはどうか。

【委員より質疑・ご意見等】

・浅賀委員他：

幅広い意見を計画に反映させるためには、全市民を対象とするべきではないのか。

団体の会員のように相手を限定するべきではない。

無作為抽出でのアンケートを実施したほうがよいのではないか。

回答率に関わらず、アンケートを配布すれば、市民の目に留まり、市民の望む事業や施策を第3次計画に反映、実施していけるのではないか。

・菊地会長：

全設問に「特になし／その他()」の選択肢を統一させた方がよいのでは。

・小橋委員：

アンケートの実施期間について、約半月の期間は短いのではないか。

一般市民の意見を聞き、計画に反映させるのであればアンケート実施期間を長めに設けるなど労力をかけた方がよいのではないか。

- ・菊地委員：
地区によって、回答内容にも偏りがでるのではないかな。
全127町会の班長以上など、市内全域での意見を聞いてもいいのではないかな。
- ・山田委員：
無作為ではなく、全町会の班長以上などの代表にかたに実施したほうが
確実性は高いのではないかな。
障がい(児)者連絡協議会の13団体にも配布してほしい。

(4) 市民懇談会の実施について

【事務局説明】

- ・第2次計画同様市民懇談会を実施予定
第2次計画策定：市内5会場で実施【第2次計画書P63参照】
第3次計画策定：1会場のみでの実施予定
- ※9月30日(土)10時～健康福社会館5階会議室(仮)
⇒8月号広報にて参加者募集(8/25より受付開始)
⇒推進懇話会委員の所属団体に対し通知予定
⇒懇談会参加者に対し、当日市民アンケート配布予定
- ※周知方法：広報みさと、三郷市HP

【委員より質疑・ご意見等】

- ・菊地会長：前回のように入報やHPだけでは参加者は集まらない。
チラシを作成して広く呼びかけた方がよい。
- ・防越委員：実施したアンケートに基づいて懇談会を行った方がよい。
- ・高山(美)委員：アンケートと懇談会について
限られた参加者での懇談会の意見だけではなく、より幅広い意見を
計画に反映させるためにアンケートを実施するのであれば、アンケ
ートは無作為抽出で行い、懇談会は1か所ではなく地域ごとに数回
行った方がよいのではないかな。
- ・菊地会長：アンケート記入の際は、無記名であるが、地区名を記入してもらう
欄を設けてもいいのではないかな。
地区の回答の特徴なども見えてくるのではないかな。
- ・小橋委員：スケジュール次第では、前回同様5か所くらいでアンケートの結果
を踏まえて懇談会を実施してはどうか。
- ・茂木委員：社会福祉協議会でも、地域福祉計画に基づいて地域福祉活動計画の
策定を進めており、同様のスケジュールで進行予定となっている。
市民懇談会の実施も検討しているが、実施回数は南北1回ずつの開
催を検討している段階。協働で懇談会を実施することも可能である。

【事務局より】

- ・ 1 回の懇談会の参加想定人数については 30 ～ 50 名を想定している。今後の懇談会の具体的な進め方については、今後検討していく。

アンケートについて、スケジュールの関係で今回のような提案をした。

本来であれば無作為抽出での実施が望ましいと考えている。

無作為抽出を行うに当たり、庁内の調整等が必要となってくるため、実施できるかは今後検討してく。

抽出の条件や手法、母体数については事務局と会長・副会長にて協議してよろしいかこの場で委員の皆様にお諮りしたい。

・ 菊地会長：

事務局からの提案について、事務局と会長・副会長でアンケート・市民懇談会について協議することについて、ご意見・質疑等あるか。

⇒異議なしと認め、今後事務局内で再度検討を重ね、会長・副会長と協議していく。

【4．閉会】

- ・ 大崎副会長より挨拶
- ・ 第 1 回三郷市地域福祉計画推進懇話会閉会